

令和3年12月

中学3年生 保護者 様

多治見市教育研究所

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果等について

小学6年生と中学3年生を対象としたみだしの調査が、5月27日に実施されました。現在、各学校で調査結果の分析・検証を進めており、今後、自校の課題を踏まえた指導の改善に一層取り組んでいくところです。

つきましては、多治見市全体の調査結果等をお知らせしますので、お子さんの学習習慣や生活習慣を見つめ直す際の参考として活用いただきますようお願いいたします。

### 1 学力調査の結果より

調査を行った教科全て「国語、数学」の平均正答率については、国・県の値とほぼ同等もしくはやや上回っています。

また、各調査結果から今後付けたい力として、以下のことを挙げる可以做到。

【国語】文脈中における語句の意味を理解していること

【数学】数・式などを活用して、数学的に処理すること

ご家庭では、学校から配付される個人票を参考に、正答数（率）だけでなく、誤答の自己分析から明らかになった課題に対して、今後努力することや気を付けていくことを、お子さん自身が自己決定できるようなふり返りとなるようお声がけをお願いします。

### 2 質問紙調査の結果より

質問紙調査において国や県の傾向とは異なった結果（上下に1ポイント以上の差があった問い）から主なものをまとめると、以下のようなことがいえます。

#### <学習習慣>

- ・一日の学習時間は国・県の結果を上回っており、自分で計画を立てて勉強することができる傾向にあります。
- ・仲間同士で話し合う活動から、考えを深めたり広げたりすることができている傾向があります。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大で休校していた期間、国の結果と同様に勉強に不安を感じていましたが、その中でも計画的に学習にしていた傾向がありました。

#### <生活習慣>

- ・将来の夢や目標をもっている生徒の割合は、国をやや上回っています。また、自分によいところがあると思っている生徒の割合は全国の結果を上回っています。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきか考える生徒の割合が低く、地域行事への参加については国の結果を上回っています。

本調査からも、家庭や学校での学習習慣・生活習慣が学力にも大きく関わっていることは明らかであり、『習慣』は、意識して努力を続けることにより必ず改善できます。

家庭と学校が協力し、子どもが望ましい習慣を身に付け、将来の自立や個性豊かな自己実現に向かっていくことができるよう、今後ご理解とご協力をお願いいたします。